

shiroishi-sumairu-project 白石すまいるプロジェクト

## すまいるひろば・壽丸屋敷で震災チャリティーイベント 「がんばっぺ東北!!」-白石からの震災復興支援!-を開催! ~復興への思いをカタチに~



▲成功を祝い山崎パニラさんとスタッフの皆さんが記念撮影

5月3日、すまいるひろばと壽丸屋敷は多くの人でにぎわった。中町若者組を中心に企画されたこのイベント。この思いに多くの方が賛同し協力した。訪れた市民の皆さんは、屋台やコンサートなどを楽しむとともに復興への思いを込めて募金を行った。また、山崎パニラさんも駆け付けて、パニラさんが作詞作曲した「白石よごさります」を来場者みんなで大合唱した。春まつり中止決定からわずか3週間で、ここまでのイベントを実施したスタッフの皆さん。「不可能を可能にする力を白石市民は持っている」と強く感じた。

## 今後も-白石からの復興支援-を継続していく ことが必要だと思います!



白石すまいるプロジェクト代表  
(中町若者組組頭)  
ふじおか ひでき  
藤岡 英樹さん

白石市民春まつりが中止になり、「中町地区だけでも何かをやるう」復興に向けたメッセージを白石から発信している「ごみん」で話をし、3週間前から準備を始めました。その中で、もちろん白石も被災地ですが、「津波の被害があった町に対して内陸部から支援をしたい」「宮城県の仲間として沿岸部に対してメッセージを発信したい」という話になりました。小原地区活性化推進協議会の皆さんや春まつり実行委員だった方などが市内にもたくさんいて、準備の段階から多くのご協力をいただくこと

ができました。そうした気持ちがある方みんなにこれだけ集まっていただけで、本当に良かったと思います。訪れた市民の皆さんからは「町が明るくなって良かったよ!」という温かい声とともに、「宮城、東北をなんとか復興させたい」という強い思いが伝わってきました。みんな気持ちにはあっても表現の仕方というか、なかなか復興への思いをカタチにできなかったのかもしれない。今回を第一弾として、今後も「白石からの復興支援」を継続していくことが必要です。ぜひ復興へのイベントを開催していきたいと思っています。

## 復興への願い

震災の影響で全日本こけしコンクールと白石市民春まつりが中止となる中、「白石を、宮城を盛り上げたい」「笑顔を届けたい」と、多くの市民の皆さんが各団体の域を超えて立ち上がった。この動きは、今後の白石の発展に間違いなくプラスに働くだろう。復興への願いは、「行動」というカタチになって現れ始めた。そして、一つの行動が人と人のつながりをより強くし、より大きな広がりを見せ始めている。震災を通して強く気付かされたことの一つ-それは、物がそろることよりも、お金よりも、家族や友人、隣近所といった「人」とつながっていることの強みではないだろうか。今回のイベントが実現できたのも、奥州片倉組や山崎パニラさんに観光大使が委嘱されたのも、人のつながりと行動にほかならない。一人ではできないことも、仲間がいればできる。復興のカギもそこにあるのかもしれない。



## 白石戦國武将隊「奥州片倉組」が 白石市観光大使(愛称:すまいる大使)に就任! ~復興に向けて白石を全国に発信~



(左)奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊とのコラボ演武 (上)風間市長より観光大使の委嘱状が一人一人に手渡された

5月3日、白石市観光大使(愛称:すまいる大使)に白石戦國武将隊「奥州片倉組」が就任。その委嘱状交付式がいっききプラザで行われ、メンバー10人一人一人に風間市長から委嘱状が手渡された。山崎パニラさんに続き第2号となる観光大使。奥州片倉組は、昨年9月に「白石市公認武将隊」となつてから、観光PRのために県内外で自主的に活動してくれた。また、ブログではメンバーそれぞれが個性あふれるコメントで活動を報告するなど、多方面からのアプローチで若い女性を中心に人気を集め、震災以降も各地で活躍。東京都池袋の宮城ふるさとプラザでは義援金の街頭募金活動に協力したり、ブログで震災への応援メッセージを全国に発信したりしてくれた。



## -profile-

趣味として甲冑武者の活動を行うメンバーが、本市が取り組む「白石城主片倉小十郎によるまちづくり」に賛同し、白石ゆかりの武将に扮して白石市を拠点に県内外で観光をPRしようと、平成22年9月に結成された。

## 市民の皆さまの自慢となるような武将隊として活躍していきます!

こたびの大地震で被災された皆さまに「奥州片倉組」を代表して心よりお見舞い申し上げます。われら「奥州片倉組」は昨年9月に旗揚げを行い、そしてこたび、「白石市観光大使」として認定いただき、さらに宮城県白石市のためにまい進していこうと思っております。しかし、残念ながら今はまだ白石城をはじめ観光地にはかなり多くの被害が出ております。まずはこの白石から元気を発信し、全国に「白石は大丈夫ですよ!」と、「白石は立ち直ります!頑張ります!」と声を高らかにいこうではありませんか。われわれはその手助けをしたいと思っております。これからも、市民の皆さまの自慢になるような白石戦國武将隊「奥州片倉組」として活躍していきたいと思っております。



伊達 政宗  
さまのすけ  
甲冑戦士★左馬之助さん